

教科名	音楽	学年	第1学年	教科担当者：二階堂 絵美
-----	----	----	------	--------------

1 音楽科で身につけさせたい力

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

年間授業実施計画

学期	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
1	歌唱 ・校歌 ・混声合唱曲 ・夏の思い出 鑑賞 ・春	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う活動に親しむ。 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、曲想の変化や弦楽器の豊かな表現に親しむ。	〈年間を通して〉 ① 活動は積極的に、話は集中して聴く「切り替える力」を身につけよう。 ② ワークシートは考えを深めるためのものです。自分の考えや仲間の意見をメモし、積極的に追求しよう。
2	歌唱 ・クラス合唱曲 ・赤とんぼ 創作 ・リズムアンサンブル 鑑賞 ・魔王	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、我が国で長く歌い継がれている日本の歌に親しむ。 曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の役割について自分なりに考え、演奏者の豊かな表現に親しむ。	③ 歌唱では、適切な音域と声量で歌いあおう。 ④ 提出物は期限を守って出そう。
3	歌唱 ・卒業式式歌 器楽 ・箏 創作 ・六段の調 ・世界の音楽	我が国の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、我が国の伝統音楽に親しむ。	⑤ 忘れ物をしないように毎時間必ず準備をしておこう。

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	・実技テストの点数 ・定期テストの「知識点」の点数
観点2	・定期テストの「思考点」の点数 ・ワークシートの記述内容 ・実技テストの表現内容
観点3	・ワークシートの記述内容 ・授業中の発言 ・振り返りシートの記述内容 ・パートリーダー、指揮者、伴奏者としての活躍 ・提出物の有無

《教科の約束事》

・基本的な持ち物は、

①1年生の教科書 ②器楽の教科書（3年間使用） ③筆記用具

④ファイル（1年最初の授業で配付／3年間使用）

⑤合唱本（コーラスフェスティバル・1年の最初の授業で配付／3年間使用） の5点セットです。

※特別な場合は、事前に音楽係またはクラスへ連絡します。

※忘れ物をしてしまったら・・・授業開始時、申し出る。自分のものは、自分で準備することが基本。

・音楽室での授業になるため、時間に余裕をもって移動しましょう。

移動教室が続く場合もありますが、事前に準備をしておくなど工夫をしておくといいです。

・授業での座席は、名簿順です。（出席確認も含む）

・授業で記入をしたワークシートは、各時間の授業終わりに必ず提出してください。

書き終わっていない場合など、自己管理する場合はなくさないように注意してください。